

1 単元名 「にんたまランド」 (マットを使った遊び)

2 目 標

- 順番やきまりを守って、安全に気を付け、友達と楽しみながら運動できるようにする。
(運動への・関心・意欲・態度)
- 友達とよい動きを見合ったり、まねしたりすることができる。
(運動についての思考・判断)
- いろいろな方向へ転がり、手で支えての体の保持や回転をすることができるようにする。
(運動の技能)

3 指導にあたって (男子*人, 女子*人)

本学級は、男女仲がよく、休み時間には男女一緒に外で元気に遊んでいる姿も見られる。遊びの内容は、学校にある固定遊具や鬼ごっこ遊びが多い。その中で、遊具遊びは、体のバランスをとる身体能力を身に付けることができるが、体を支えられなかったり、バランスを崩したりして、ケガをしてしまうという現状がある。これらの実態から、低学年の段階でさまざまな運動を経験できる場を設定し、基本的な動きを身に付けることが必要であると考えた。

マットを使った遊びは、友達といっしょに楽しく遊ぶ中で、日常生活では味わえない様々な動きに取り組み、器械運動の基礎となる感覚を養うことができる。また、高学年になるとマット運動に対して苦手意識をもち「できる」、「できない」がはっきりしてしまうので、発達の特性に合った活動を実践し、安全面に配慮した学習の場や教材の工夫をすることによって、運動の楽しさや喜びを味わいながら基本的な動きを習得できるようにすることが重要である。

そこで、本研究では、友達と楽しく遊ぶ中で、転がる感覚、逆さの感覚、腕による支持、バランスなどを十分に体験させる場（修行をする場）を設定する。次に、各感覚を組み合わせた技を連続で行う場（修行の旅に出る場）を設定することでスムーズな連続技を意識できるようにする。そして、これまでに身に付けた修行の動きを、自分で作ったお話の中に入れた「お話マット」を作っていく。友達と互いに見合う場面を作ることによって、友達のよさをまねたり、新しい動きに挑戦しようとする意欲も高まってくる。以上のように、マットを使った遊びにおいて、友達とさまざまな動きを経験することを通して、その運動の特性や感覚を十分に味わえるような学習の場や教材を工夫し、友達と楽しく遊びながら基本的な動きを身に付けさせていきたい。

4 単元の評価基準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
学習活動に即した評価基準	①マットを使つての運動遊びに◎ <u>進んで</u> 取り組もうとしている。 ②運動の順番やきまりを守り、友達と協力して◎ <u>常に</u> 運動しようとしている。 ③友達と協力して、◎ <u>常に</u> マットの準備や片付けしようとしている。	①遊びの場に合わせて体をいろいろに動かす面白さや遊びを◎ <u>進んで</u> 工夫している。 ②マットを使つての運動遊びの動き方を知るとともに、◎ <u>進んで</u> 友達のよい動きを見付けたり、まねしようとしている。	①いろいろな方向へ◎ <u>スムーズに</u> 転がることことができる。 ②手や背中で◎ <u>しっかりと</u> 支えての体の保持や回転などができる。 ③基本的な運動感覚（回転・腕支持・姿勢保持・逆さ）を◎ <u>十分に</u> 身に付けることができる。

◎は十分に満足できる状況

5 指導と評価計画（7時間扱い）

段階	時間	学習のねらいと活動	評価計画		
			関	思	技
はじめ	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 運動の特性やねらい，計画，内容を理解する。 ○ 学習の方法や場を確認する。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 運動の特性やねらいを知る。 2 学習の進め方を知る。 3 ルールを確認する。 4 模倣（動物・昆虫）遊びをする。 5 学習を振り返る。 6 整理運動，片付けをする。 	①		①
なか 1 × 2	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ マット特有の基礎感覚を経験し，マット遊びに慣れ親しむ。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 整列，挨拶，準備運動をする。 2 本時のねらいを確認する。 	②	①	
	3	<ol style="list-style-type: none"> 3 基本運動・修行をする。（回転，腕支持，姿勢保持，逆さ） 4 本時の学習を振り返る。 5 整理運動，片付けをする。 			
なか 2 × 2	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ マットで遊んだことを生かして，いろいろな動きを組み合わせた連続の遊びを楽しむ。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 整列，挨拶，準備運動をする。 2 本時のねらいを確認する。 	①		③
	⑤ 本時	<ol style="list-style-type: none"> 3 基本運動・修行の旅に出る。（いろいろな動きを組み合わせた遊び） 4 本時の学習を振り返る。 5 整理運動，片付けをする。 			
なか 3	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでに身に付けた修行の動きで，お話マットをつくる。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 整列，挨拶，準備運動をする。 2 グループをつくる。 3 本時のねらいを確認する。 4 基本運動・お話マットをつくる。 5 本時の学習を振り返る。 6 整理運動，片付けをする。 		②	②
まとめ	7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ お話マットの発表会を行い，友達のよいところを見付ける。 ○ 友達のよいところをまねしたり，新しい動きに挑戦してみる。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 整列，挨拶，準備運動をする。 2 本時のねらいを確認する。 3 お話マットの発表会をする。 4 本時の学習を振り返る。 5 整理運動，片付けをする。 	③		③

6 本時の学習

(1) 本時の目標

- マットを使つての運動遊びに取り組もうとしている。 (運動への関心・意欲・態度)
- 基礎的な運動感覚 (回転・腕支持・姿勢保持・逆さ) を身に付けることができる。 (運動の技能)

(2) 準備・資料

大マット・小マット・跳び箱・コーン・連結バー・ロイター板・平均台・お手玉・
学習カード・掲示資料

(3) 展開 (5 / 7)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
はじめ 8分	1 整列, 挨拶, 準備運動をする。 2 本時のねらいや学習の進め方を確認する。	・ 普段使わない筋肉をよくほぐすよう準備運動を行わせる。 ・ 本時の学習の場 (修行の旅) のやり方やケガの防止について十分に説明する。	
	どれだけたくさんのにんぼうができるようになるかな		
なか 30分	3 基本運動をグループで行う。 ・ ゆりかご ・ かえるの足うち ・ ブリッジ ・ アンテナ 4 修行の旅にでる。 ①のぼるたび (逆さになる) ②くるくるたび (前・後ろに回る) ③ぴよんぴよんたび (腰の位置を高くする) ④アニマルたび (手で支える)	・ 感覚づくりやケガの防止になるよう, 大きく動くよう声をかける。 ・ テンポのよいBGMをかけ, 楽しく活動しやすいようにする。 ・ 支持感覚・逆さ感覚・回転感覚等の基礎的な感覚が身に付くよう, 繰り返し行うように声をかける。 ◇マット運動への恐怖心を和らげるためにも, できない忍法は無理にはやらせずに次の忍法へ移動できるようにする。 ◇資料を有効に活用し, 感覚のつまづきを解決させる手立てとする。 ・ 称賛, 紹介することで, 感覚づくりのポイントの共有化を図る。	〈態度①〉 ・ マットを使つての運動遊びに取り組もうとしている。 (観察) 〈技能③〉 ・ 基礎的な運動感覚 (回転・腕支持・姿勢保持・逆さ) を身に付けることができる。 (学習カード・観察)
まとめ 7分	5 本時の学習を振り返る。 ・ どれだけの忍法ができたか, 友達のよかったところを発表する。 6 整理運動, 片付けをする。	・ 本時の学習でどれだけの忍法ができたか, 友達のよかったところについて, これからの自分のめあてを確認し, 次時の予告するとともに次時へ期待をもたせる。 ・ 痛めたところがないか確認しながら, ゆっくりストレッチできるように声をかける。 ・ 協力して素早く片付けられるようにする。	

◇は努力を要する状況にある児童への手立て